

御質問等回答一覧

No.	御意見等	回答
1	今回計画のポンプで多摩川に水を流すのか。	ポンプ稼働時のみ雨水は、既設の多摩川雨水幹線から流入管、定置式ポンプ施設、圧送管を經由し、既設多摩川雨水幹線の下流部から、猪方排水樋管を通り、多摩川へ流れることとなります。
2	猪駒通りの最大工事区間を知りたい。	今後詳細設計を行います。基本設計段階では、工事区間は猪方排水樋管前から流入管を設置するポンプ施設の敷地までとなります。工事区間を区切って長くならないように検討いたします。
3	浸水想定区域の電柱に設置してある表示板の事でお聞きします。例えば（～3.0）（～4.0）とありますが、この高さの基準は何から算出したのですか。	想定浸水深表示板は、国土交通省京浜河川事務所作成の多摩川・浅川・大栗川の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）をもとに、大雨時に多摩川が氾濫した場合から算出された浸水深です。想定した雨量は、多摩川流域での48時間の総雨量が588mmという、水防法の規定により定められた想定しうる最大の大雨です。
4	上記に関連する質問ですが、多摩川堤の五本松付近の多摩川堤防道路の地盤高T.P.をおよそで結構ですので教えて下さい。	現況の地盤高は把握していませんが、国土交通省京浜河川事務所が管理している距離標は、多摩川堤防の五本松付近で24.0K（24キロメートル地点）付近になり、「多摩川水系河川整備計画（令和8年2月）」での計画堤防高は、T.P. +26.226m（A.P. +27.36m）となっています。
5	ポンプ室の高さですが、計画では現在の駐車場の高さより1.4m盛土するようですが水害被害の規模が年々大きくなっていますので、10年・20年先を考えた時に少しでも高くして頂くことが重要かと思いを要望いたします。	近年災害が激甚化している傾向にあることは、認識しております。狛江市では、令和元年東日本台風の被害は重く受け止めており、同規模の大雨があった場合でも浸水しない対策をしています。近隣にお住まいの方への影響も配慮し、引き続き検討いたします。
6	説明会に参加したが、参加者から「規制対象外の建設物だったら、日影を考えず、高い建築物の工事を考えろ」との意見。その様な周辺の環境を無視した意見に対し、隣接する人々は反対しています。 私の家も床上浸水被害に遭い、ポンプ施設工事に対しての大切さはわかりますが、突然閑静な住宅地にポンプ施設ができることに驚き、不安になっています。 公共設備工事に対して、隣接する住宅地域なので、特に環境を考え、周囲に植栽をして、やわらかなものにすることが、地域住宅工事に対し、公共工事のあり方と思います。 特に、私の家は、日影 非常用発電機による騒音など、工事設備が最も隣接する場所なので配慮してほしいです。	狛江市では、令和元年東日本台風の被害は重く受け止めており、同規模の大雨があった場合でも浸水しない対策をしています。近隣にお住まいの方への影響も配慮し、引き続き検討いたします。
7	前回の災害を教訓に再発防止の対策をとっていただき、近隣住民として非常に安心しています。様々な意見があると思いますが、私は今回の計画を全面的に支持します。	御意見ありがとうございます。
8	停電時にポンプ施設を稼働するために自家用発電機を設置するとのことだが、自家用発電機はどのくらいの時間ポンプを稼働することができるのか。	24時間となります。
9	令和元年東日本台風のときは、狛江市から発信される情報がホームページになっていて、つながりなかった。その後、狛江市は改善したのか。	市ホームページサーバ機器の増強により量的なアクセス増対策を行ったほか、東京都内自治体での広域による強靱化対策として東京都が整備したセキュリティクラウドを經由した接続に切り替え、短期間での急激な通信量の増加への対策も行いました。これらによりアクセス集中によるサーバダウンは起こりづらいと想定しています。
10	令和元年東日本台風当時の、停電の状況について	令和元年東日本台風では、10月12日20時58分から22時47分までの間で、猪方一、二、三、四丁目、東和泉一、二、三丁目、元和泉一丁目において停電が発生していました。